

はじめに

県民の皆様の安心・安全の確保を図るため、本県における消防防災体制は、関係各位の御努力により、着実に充実強化されてきているところです。

しかしながら、平成21年には、本県において、記録的な豪雨に伴う土石流による災害や、宿泊客を巻き込んだ一酸化炭素中毒事故、野焼きによる火災事故、さらには化学工場での爆発事故など、大規模な災害や特殊な事故等が相次いでおり、今一度、現在の消防防災行政の課題を踏まえ、多様化する災害や事故等に対応していかなければなりません。

こうした状況の中、県としましては、県民の皆様の生命・財産を守るため、市町、消防本部、消防団及び消防防災関係機関・団体との緊密な連携を構築するとともに、県民の皆様や企業など地域社会と幅広く協働することにより、消防防災体制の更なる充実強化を図っていく必要があると考えております。

このため、県では、「暮らしの安心・安全基盤の強化」を県政の重点施策に位置づけ、学校の耐震化の推進や自主防災組織率の向上等の防災対策の充実強化をはじめ、救命率向上のための救急業務の高度化や、火災予防の推進等、「住み良さ日本一の元気県づくり」の基盤となる県民の皆様の安心・安全を守るための取組を鋭意進めているところです。

本書は、県内市町、消防本部等からの報告に基づき、平成21年4月1日現在及び平成20年度中における消防・防災の概況を取りまとめたものです。消防防災関係者はもとより、多くの皆様方に御活用いただき、今後の消防防災施策の参考としていただければ幸いです。

平成22年1月

山口県総務部防災危機管理課長

坂本 哲 宏